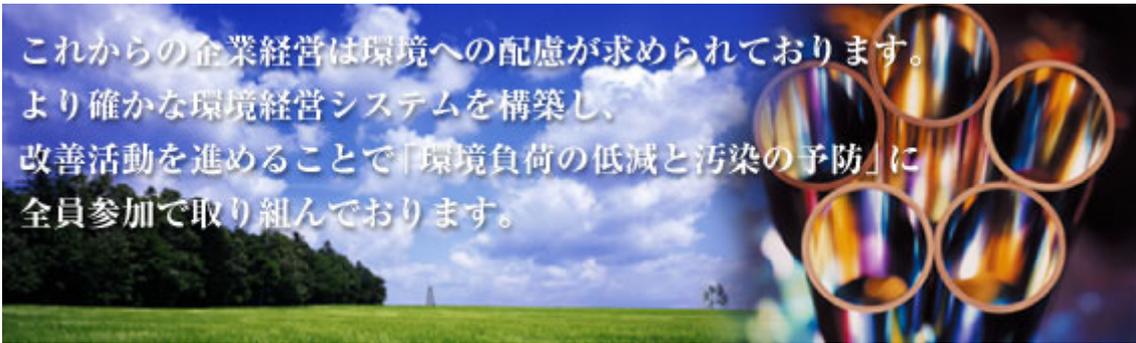


# 環境経営レポート

(対象期間：2023年4月～2024年3月)



2024年7月20日作成

株式会社 大和伸管所

# I. 事業概要

## 1. 事業所及び代表者名

株式会社 大和伸管所

代表取締役：鈴木直人

## 2. 所在地

本社：埼玉県朝霞市膝折町1丁目14番16号

新潟工場：新潟県十日町市木落185番地

## 3. 環境管理の責任者及び担当者氏名、連絡先

統括環境管理責任者：鈴木直人

環境管理責任者：出村高光（本社） 深民崇夫（新潟）

環境管理担当者：鈴木雄太（E-mail：[y-suzuki@yamato-group.jp](mailto:y-suzuki@yamato-group.jp)）

連絡先：TEL 048-461-4135

FAX 048-461-4180

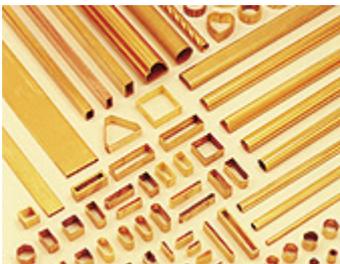
## 4. 事業内容

銅合金管の製造

## 5. 事業規模

活動規模	2023年
売上高	1,529百万円
従業員数	53名

### <取扱製品>



## 6. 対象範囲

1. 認証登録事業活動：銅合金管の製造

2. 認証登録事業範囲：株式会社 大和伸管所 本社、新潟工場の

全組織及び全活動

## Ⅱ. 環境経営方針

### 基本理念

社は「我々は大いなる和の精神に生き、互いに助け合い、人格と  
技術の向上に努め、社会に貢献し、共に豊かになろう」

(株)大和伸管所は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題のひとつであることを認識し、「あらゆる事業活動において環境に配慮し、豊かな明日の創造に寄与する」ことを目指します。

### 行動指針

1. 環境経営システムを構築し継続的改善を図ります。
2. 環境関連法を含む法令、顧客要求事項等を遵守します。
3. 事業活動、製品に関わる環境側面を常に認識し、環境に配慮した事業活動を推進することにより環境負荷低減と汚染の予防を図ります。
  - ① 省エネルギーの推進
  - ② 不適合品の削減と歩留まり向上の推進
  - ③ 最適素材量の見極めと確保により、在庫量の低減
  - ④ 廃棄物の低減
  - ⑤ 節水・水の効果的利用
4. 環境教育、社内広報活動などを通じて、全従業員の環境経営方針の理解と、地球環境保全に対する意識向上を図ります。
5. 環境経営方針を広く公開すると共に、適切な情報提供に努めます。

2020年6月10日  
株式会社 大和伸管所  
代表取締役社長

鈴木 直人 印

### Ⅲ. 環境経営目標とその活動計画

#### 1. 環境経営目標

項目 年度	単位	過去3年平均 (基準)	2021年	2022年	2023年
温室効果ガス	kg-CO <sub>2</sub>	389,259	385,366	381,474	377,581
	kg-CO <sub>2</sub> /生産量t	674	667	661	654
廃棄物	t	14.6	14.6	14.6	14.6
	t/生産量t	0.0253	0.0253	0.0253	0.0253
総排水量	m <sup>3</sup>	11,969	11,849	11,730	11,610
	m <sup>3</sup> /生産量t	20.7	20.5	20.3	20.1
グリーン購入の 推進	—	エコ製品を優先 して購入する	エコ製品を優先 して購入する	エコ製品を優先 して購入する	エコ製品を優先 して購入する

化学物質は、PRTR 対象物質がないため削減目標設定していません

ただし、毒劇物法対象の物質については量を把握し適正な管理をしています

本社 (TEPCO 2020年係数使用) 電力排出係数: 0.441kg-CO<sub>2</sub>/kWh  
 新潟工場 (出光興産 2020年係数使用) 電力排出係数: 0.406kg-CO<sub>2</sub>/kWh

#### 2. 環境経営計画

	場所	2023年
温室効果ガス 排出量の 削減	全社 新潟	<b>目標: 3%削減</b> 1) 電気の効率的使用 ①M <sub>1</sub> ・M <sub>2</sub> ・M <sub>3</sub> の排除 ②省エネ設備の検討(LED化) ③ガス炉の効率的稼働
	新潟	2) 生産性・品質向上対策 ①班長会(JPN講義、月次活動報告) ②品質会議(月次活動報告) ③抽伸能率 240m/H人 ④抽伸歩留 84%以上
	本社	3) 事務処理効率UP ①残業時間の縮小
廃棄物等総 排出量の削減	全社	<b>目標: 現状維持</b> 1) リサイクル推進 分別管理の徹底
総排水量の 削減	全社	<b>目標: 3%削減</b> 上水使用量の削減
	新潟	1) 節水意識の向上 2) 洗浄および冷却水の節水
環境法規等 の遵守	新潟	<b>目標: 違反“0”</b> 1) 最新版管理と要求事項

教育・訓練	全社	目標：理解と全員参加 1) 年間教育計画作成と実施 ①EA21、法規、緊急対応
	全社	2) 緊急対応訓練

#### IV. 2023年環境経営目標と実績

項目 年度	単位	過去3年平均	2023年		評価 (目標比)
		基準	目標	実績	
温室効果ガス	Kg-CO <sub>2</sub>	389,259	377,581	360,957	-4%
	kg-CO <sub>2</sub> /生産量 t	674	654	740	+13%
廃棄物	t	14.6	14.6	18.7	+28%
	t/生産量 t	0.0253	0.0253	0.0382	+51%
総排水量	m <sup>3</sup>	11,969	11,610	10,968	-6%
	m <sup>3</sup> /生産量 t	20.7	20.1	22.48	+12%

化学物質は、PRTR 対象物質がないため削減目標設定していません  
ただし、毒劇物法対象の物質については量を把握し適正な管理をしています  
本社 (TEPCO 2020年係数使用) 電力排出係数：0.441kg-CO<sub>2</sub>/kWh  
新潟工場 (出光興産 2020年係数使用) 電力排出係数：0.406kg-CO<sub>2</sub>/kWh

#### V. 2023年環境経営計画の取組結果とその評価

	場所	活動内容	活動結果及び評価
温室効果ガス排出量の削減	全社	目標：3%削減 1) 電気の効率的使用 ・M <sub>1</sub> ・M <sub>7</sub> ・M <sub>8</sub> の排除 ・省エネ施設の検討	・使用量目標 377,581kg-CO <sub>2</sub> に対して 360,957kg-CO <sub>2</sub> で達成。 ・原単位目標 654kg-CO <sub>2</sub> に対して 740kg-CO <sub>2</sub> で未達成。
	新潟	2) ガス炉の効率的稼働 3) 生産性・歩留の改善 ①抽伸能率 240m/H人 ②抽伸歩留 84%以上	抽伸能率：195.2m/h 歩留実績：81.1%
廃棄物等総排出量の削減	全社	目標：現状維持 1) リサイクル・リユースの推進 ①分別管理の徹底	・廃棄物目標 14.6 t に対し 18.7 t で未達成。 ・原単位目標 0.0253 t に対し 0.0382 t で達成。 水溶性油、木箱整理による木くずが発生したため大幅に未達となった。
総排水量の削減	全社 新潟	目標：3%削減 1) 上水使用量の削減 2) 配管からの漏れ定期検査 3) 洗浄および冷却水の節水	・目標原単位 20.1 に対し 22.48 で未達成。

## VI. 環境関連法規制への違反、訴訟の有無

### 1. 対象法規制リストと遵守状況

主な適用法規	当社の対応	遵守状況の結果	場所
消防法（危険物令）	少量危険物貯蔵所設置の届出	○	新潟
廃棄物の処理及び清掃に関する法	産業廃棄物管理票交付 産業廃棄物管理票交付等状況報告	○	新潟
毒物及び劇物取締法	毒劇物の盗難防止 毒劇物の飛散、漏洩、流出、地下浸透の防止処置を行う 運搬、貯蔵基準 毒劇物の表示	○	新潟
家電リサイクル法	家電製品の買い替え	○	本社

### 2. 違反・訴訟の有無

関連法規制遵守状況のチェックの結果、法規制等の逸脱はなかった。  
又、関係当局より違反等の指摘はありませんでした。

## VII. 代表者による全体の評価と見直し結果

### 全体の確認・評価

事項	報告内容（要旨）	代表者の評価
1) 環境経営目標の達成状況、並びに環境経営計画の実施状況	・原単位目標に対する実績 温室効果ガス : +13% 廃棄物総排出量 : +51% 総排水量 : +12%	CO <sup>2</sup> 発生量の絶対量は減少しているが、出荷量の減少により原単位で増加となった。可能な限り効率的生産を検討して欲しい。木箱は有効的にリサイクルしているが使用不可の物もあり、増加は致し方ないとする。
2) 近隣住民からの苦情・要望の受付及び処置状況	特になし	引き続き近隣との境界については、監視をお願いします。
3) 環境法規制等に対する遵守状況、並びに定期確認結果	対象法規制は遵守している	引き続き定期的な監視をお願いします。
4) 環境経営方針	変更の必要はないと考える	継続致します。
5) 実施体制	問題ないとする	継続推進をお願い致します。
6) その他 ・法規制等の動向 ・改善提案の取扱い（システム上の） ・取引先からの要求	「違反や訴訟、関係当局の指摘」はなかった	対応出来ていると思います。

## VIII. 2024 年環境経営計画

	活動内容
温室効果ガス	目標：基準年度比 1%削減 (370,792kg-CO <sub>2</sub> )
	1) 電気の効率的使用 ①ムダな電気使用の低減 ②ガス炉の効率的稼働 ③省エネ施設の検討 2) 生産性・歩留の改善
廃棄物等総排出量の削減	目標：現状維持 (16.5 t)
	1) リサイクルの推進 ①ゴミ分別管理の徹底
水使用量の削減	目標：基準年度比 1%削減 (11,384m <sup>3</sup> )
	1) 上水使用量の低減 ①節水意識の向上 ②配管からの漏れ定期検査 ③洗浄および冷却水の節水
生産歩留りの向上	目標：基準年度比 0.1%向上 (80.9%)

## IX. 2024 年実施体制

